



CHAPTER 5

機能、テンプレート、サービス、およびユーザの設定

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワークの設定値を設定して、IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後は、Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションを使用して、テレフォニー機能を設定する必要があります。必要に応じて、電話テンプレートの修正、サービスのセットアップ、ユーザの割り当ても行います。

この章では、これらの設定およびセットアップについて、手順の概要を示します。これらの手順の詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager 上のすべての電話機または特定の電話機モデルでサポートされるすべての機能を一覧するには、Cisco Unified レポート ツールで、Unified CM Phone Feature List レポートを生成してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する内容に関する推奨事項については、[付録 A 「Web サイトによるユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

英語以外の環境での電話機のセットアップについては、[付録 C 「技術仕様」](#) を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [「Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能」 \(P.5-1\)](#)
- [「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加」 \(P.5-9\)](#)
- [「ユーザ オプション Web ページの管理」 \(P.5-10\)](#)

Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後、電話機に機能を追加できます。[表 5-1](#) に、サポートされているテレフォニー機能を示します。これらの多くは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して設定できます。この表の「参照先」欄は、設定の手順と関連情報が記載された Cisco Unified Communications Manager やその他のマニュアルを示しています。

これらのほとんどの機能に関する、電話機での使用方法の詳細については、『*Cisco Unified IP Phone 6901 and 6911 User Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページには、各種のテレフォニー機能を設定するためのサービス パラメータもいくつかあります。サービス パラメータへのアクセスと設定方法については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』を参照してください。

サービスの機能の詳細については、[サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウでパラメータ名を選択するか、ヘルプ ボタン [?] を選択します。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定の参照先
エージェントのグリーティング	<p>エージェントが、カスタマー コールなどのコールの始め（エージェントが発信者との会話を始める前）に再生される、事前に録音したグリーティングを作成および更新できます。エージェントは、必要に応じてグリーティングを録音したり更新したりできます。</p> <p>顧客からのコールがあると、エージェントと顧客の両方に、録音済みのグリーティングが聞こえます。エージェントは、グリーティングが終了するまでミュートにしておくことも、グリーティングの途中でコールに応答することもできます。</p> <p>エージェントのグリーティングでは、電話機でサポートされているすべてのコーデックがサポートされます。</p> <p>Cisco Unified CM の管理アプリケーションでエージェントのグリーティングを有効にするには、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択し、設定する IP Phone を選択します。[デバイス情報レイアウト (Device Information Layout)] ペインまでスクロールして、[ビルトインブリッジ (Built In Bridge)] フィールドを [オン (On)] または [デフォルト (Default)] に設定します。</p> <p>[ビルトインブリッジ (Built In Bridge)] を [デフォルト (Default)] に設定した場合は、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameter)] を選択し、適切なサーバとサービスを選択します。[クラスタワイドパラメータ (デバイス - 電話) (Clusterwide Parameters (Device - Phone))] ペインまでスクロールして、[ビルトインブリッジの有効 (Built In Bridge Enable)] を [オン (On)] に設定します。</p>	<p>詳細については、次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Barge and Privacy」 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phones」
Audible Message Waiting Indicator (AMWI; オーディオメッセージ受信インジケータ)	<p>ハンドセットまたはスピーカフォンから聞こえるスタッター音により、ユーザが回線で新しいボイスメッセージを 1 つ以上受信したことが示されます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
自動応答 (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	<p>呼出音を 1 ~ 2 回鳴らした後に、着信コールを自動的に接続します。</p> <p>自動応答は、スピーカフォンと連動します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Directory Number Configuration」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
<p>自動ポート同期 (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)</p>	<p>Cisco Unified CM の管理者が、リモート ポート設定機能を使用して IP 電話機の速度と二重化機能をリモートから設定する場合、一方のポートがもう一方のポートより低速であると、パケット損失が発生する可能性があります。</p> <p>自動ポート同期機能は、2 つのポートを遅い方のポートに同期させることにより、パケット損失を排除します。自動ポート同期が有効になっている場合は、両方のポートを自動ネゴシエーションに設定することを推奨します。一方のポートで自動ネゴシエーションが有効になっていて、もう一方のポートが固定速度になっている場合、電話機はその固定速度に同期されます。</p> <p>(注) 両方のポートが固定速度に設定されている場合、自動ポート同期機能は使用できません。 リモート ポート設定機能と自動ポート同期機能は、IEEE 802.3AF Power of Ethernet (PoE) スイッチでのみ使用できます。Cisco インラインパワーのみをサポートするスイッチでは使用できません。これらのタイプのスイッチに接続された電話機でこの機能を有効にすると、その電話機の電力が PoE で供給されている場合、Cisco Unified CM への接続が失われる可能性があります。</p>	<p>Cisco Unified CM の管理アプリケーションでパラメータを設定するには、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択し、適切な IP Phone を選択して、[プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] ペインまでスクロールします。</p> <p>複数の電話機の設定を同時に設定するには、[エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configuration)] ([システム (System)] > [エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configurations)]) または [共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] ([デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)]) で [自動ポート同期 (Automatic Port Synchronization)] を有効にします。</p>
<p>自動割り込み</p>	<p>シェアド ライン コールに自動的に C 割り込みできるようにします。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Barge and Privacy」の章
<p>外線から外線への転送のブロック</p>	<p>外線コールをユーザが別の外線コールに転送することを禁止します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「External Call Transfer Restrictions」の章を参照してください。</p>
<p>自動転送</p>	<p>ユーザは、着信コールを別の番号にリダイレクトできます。コール転送オプションには、不在転送、話中転送、無応答時転送、およびカバレッジなし時転送があります。</p> <p>電話機に不在転送が設定されている場合、オフフック後にスタッター音が聞こえます。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Directory Number Configuration」の章 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phone」の章 「ユーザ オプション Web ページに表示するオプションの指定」(P.5-12)

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
不在転送ループのブ レークアウト	不在転送ループを検出して防止します。不在転送ループが検出されると、不在転送の設定が無視されて呼出音が鳴ります。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「 Cisco Unified IP Phone 」の章を参照してください。
不在転送ループ防止	ユーザが、不在転送の宛先を電話機で直接設定する際に、不在転送ループが生じたり、既存の [Forward Maximum Hop Count] サービス パラメータに定められたホップ数の上限を超える不在転送チェーンが生じたりしないように防止します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「 Cisco Unified IP Phone 」の章を参照してください。
コール転送の宛先の無効化	管理者は、Call Forward All (CFA; 不在転送) の転送先が CFA の転送元にコールを発信する場合には CFA を無効にできます。この機能により、CFA の転送先は、重要なコールがある場合に CFA の転送元に到達できるようになります。この無効化は、CFA の転送先の電話番号が内部か外部かに関係なく動作します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i> 』の「 Understanding Directory Numbers 」の章を参照してください。
コール ピックアップ (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	ユーザが、同僚の電話機にかかっているコールを自分の電話機にリダイレクトして、応答できるようにします。 電話機のプライマリ回線に、音声によるアラートを設定できます。このアラートによって、ピックアップ グループ内でコールの呼び出しがあることが通知されます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「 Call Pickup 」の章を参照してください。
コール ウェイティング	コールの最中に別の着信コールの呼出音が鳴っていることを通知し、ユーザが応答できるようにします。 電話機でコール待機音 (1 回のビーブ音) が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Understanding Directory Numbers」の章
C 割り込み	ユーザが、共用電話回線で非プライベート コールに参加できるようにします。C 割り込みによってユーザがコールに追加され、会議に変換されるので、ユーザやその他の関係者は会議機能にアクセスできるようになります。	詳細については、次のマニュアルを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i>』の「Barge and Privacy」の章 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章 『<i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i>』の「Barge and Privacy」の章
Cisco Unified Video Advantage (CUVA) (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	Cisco Unified IP Phone、パーソナル コンピュータ、および外付けビデオ カメラを使用することにより、ユーザがビデオ コールを発信できるようにします。	[電話の設定 (Phone Configuration)] の [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] セクションで、ビデオ機能と自動回線選択のパラメータを設定します。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
Cisco Web Dialer	Web およびデスクトップアプリケーションから電話をかけることができます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「 Cisco Web Dialer 」の章を参照してください。
クライアント識別コード (CMC)	コールが特定のクライアント マターに関連するように指定できます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「 Client Matter Codes and Forced Authorization Codes 」の章を参照してください。
会議	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。会議機能には、会議とミーティングがあります。 標準 (アドホック) 会議では、開催者以外でも参加者を追加できます。また、どの会議参加者でも同じ回線上の 2 つの標準会議を結合できます。 Cisco Unified IP Phone 6901 の会議ホストが、フックフラッシュ機能を使用して、会議に最後に参加した参加者を削除できるようにします。 	<p>これらの機能を有効にするには、[Advance Adhoc Conference] サービス パラメータ (Cisco Unified Communications Manager の管理ページではデフォルトで無効になっています) を使用します。</p> <p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Conference Bridges」の章を参照してください。</p> <p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p> <p>(注) ユーザに対し、これらの機能がアクティブであるかどうかを必ず通知してください。</p>
CTI アプリケーション	Computer Telephony Integration (CTI) ルート ポイントでは、仮想デバイスを指定して、アプリケーションが宛先変更を制御している多重同時コールを受信できます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i> 』の「 CTI Route Point Configuration 」の章を参照してください。
Forced Authorization Code (FAC; 強制承認コード)	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「 Client Matter Codes and Forced Authorization Codes 」の章を参照してください。
グループのコール ピックアップ (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	ユーザは、別のグループの電話番号で呼出音が鳴っているコールに応答できます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i> 』の「 Call Pickup 」の章を参照してください。
保留状態	共有回線を持つ電話機では、ローカル回線とリモート回線のいずれかがコールを保留したのかを区別できます。 ローカル保留の場合、回線 LED は緑色に点灯し、リモート保留の場合は赤色に点灯します。	設定は必要ありません。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
保留/復帰	<p>ユーザは、保留ボタンを使用して、接続されたコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。ユーザは、回線ボタンまたはスピーカーボタンを押すか、オフフックにすることで、保留中のコールを再開します。</p> <p>(注) ローカル コールが保留中の場合は回線ボタンの LED が緑色に点滅し、リモートコールが保留中の場合は赤色に点滅します。</p>	<p>設定は必要ありません。ただし、保留音を使用する場合には必要です。この表の「保留音」を参照してください。</p>
ミーティング (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	<p>ユーザがミーティングを開始し、参加ユーザは予定の時刻に、あらかじめ決められた番号にコールをかけます。</p> <p>ユーザがミーティングに参加するには、機能ボタンとミーティングの番号を押します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Meet Me Number/Pattern Configuration」の章を参照してください。</p>
メッセージ待機	<p>メッセージ受信オンインジケータおよびオフインジケータ用の電話番号を定義します。直接接続型のボイスメッセージシステムでは、指定された電話番号を使用して、特定の Cisco Unified IP Phone のメッセージ受信インジケータを設定したりクリアしたりします。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Message Waiting Configuration」の章 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章
Message Waiting Indicator; メッセージ待機インジケータ	<p>ハンドセットのランプの 1 つで、ユーザに対する 1 つまたは複数の新着ボイスメッセージが届いていることを示します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Message Waiting Configuration」の章 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章
Music on Hold	<p>発信者が保留状態になっている間、音楽を再生します。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide』の「Music On Hold」の章を参照してください。</p>
消音 (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	<p>ハンドセットやスピーカーフォンからのマイク音声をミュートにします。</p>	<p>設定は必要ありません。</p>
オンフック コール転送	<p>ユーザは、転送ボタンを押してからオンフックにすることで、コール転送を実行できます。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Cisco Unified IP Phones」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
プラス ダイヤル	ユーザが、プラス (+) 記号から始まる E.164 番号をダイヤルできます。 プラス (+) 記号をダイヤルするには、「*」キーを 1 秒以上押し続ける必要があります。これは、オンフックとオフフックの両方のコールで、先頭桁をダイヤルするときに当てはまります。	設定は必要ありません。
Private Line Automated Ringdown (PLAR)	Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ハンドセットをオフフックにすると Cisco Unified IP Phone によってただちにダイヤルされる電話番号を設定できます。この機能は、緊急連絡や「ホットライン」の番号にコールするための電話機を用意する場合に役立ちます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「 Directory Number Configuration 」の章を参照してください。
リダイヤル	ユーザは、 リダイヤル ボタンを押して、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。	設定は必要ありません。
リモート ポート設定	管理者が、Cisco Unified CM の管理を使用して、電話機のイーサネット ポートの速度と二重化機能をリモートから設定できます。これにより、特定のポート設定の大規模な展開でパフォーマンスが向上します。 (注) Cisco Unified CM でポートがリモートポート設定用に設定されている場合、データを電話機で変更することはできません。	Cisco Unified CM の管理アプリケーションでパラメータを設定するには、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択し、適切な IP Phone を選択して、[プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration Layout)] ペイン ([スイッチ ポートのリモート設定 (Switch Port Remote Configuration)] または [PC ポートのリモート設定 (PC Port Remote Configuration)]) までスクロールします。 複数の電話機の設定を同時に設定するには、[エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configuration)] 画面 ([システム (System)] > [エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configurations)]) または [共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] 画面 ([デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)]) でリモート設定を設定します ([スイッチ ポートのリモート設定 (Switch Port Remote Configuration)] または [PC ポートのリモート設定 (PC Port Remote Configuration)])。
シェアドライン	ユーザは、複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできます。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「 Understanding Directory Numbers 」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
モニタリングおよび録音 (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	<p>スーパーバイザは、アクティブ コールのサイレント モニタリングを実行できます。いずれの通話者にもスーパーバイザの音声は聞こえません。ユーザには、コールがモニタされている間、モニタ中であることを示す音声アラートが聞こえる場合があります。</p> <p>コールがセキュリティで保護されている場合は、ロック アイコンが表示されます。発信者にも、コールがモニタされていることを示す音声アラートが聞こえる場合があります。コールがセキュアであり、モニタされていることを示す音声アラートは、接続先の通話者にも聞こえることがあります。</p> <p>アクティブ コールがモニタまたは録音されているときにインターコム コールを受信したり発信したりすることもできますが、インターコム コールを発信すると、アクティブ コールは保留になります。この場合、録音セッションは終了し、モニタリングセッションは中断されます。中断されたモニタリングセッションを再開するには、モニタされているユーザがコールを再開する必要があります。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager Features and Services Guide</i>』の「Monitoring and Recording」の章を参照してください。</p>
短縮ダイヤル (Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)	<p>記憶されている指定番号をダイヤルします。</p> <p>この機能は、Cisco Unified Communications Manager で設定する必要があります。ユーザは、機能キーと機能コードを使用して短縮ダイヤルにアクセスします。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Cisco Unified IP Phone Configuration」の章 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章
時間帯ルーティング	<p>指定したテレフォニー機能へのアクセスを時間帯によって制限します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Time Period Configuration」の章 『<i>Cisco Unified Communications Manager System Guide</i>』の「Time-of-Day Routing」の章
タイムゾーンのアップデート	<p>タイムゾーンの変更に伴って Cisco Unified IP Phone を更新します。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager Administration Guide</i>』の「Date/Time Group Configuration」の章を参照してください。</p>
転送	<p>ユーザは、接続されているコールを自分の電話機から別の番号にリダイレクトできます。</p>	<p>一部の JTAPI/TAPI アプリケーションは、Cisco Unified IP Phone 6901 および 6911 における直接転送機能の実装と互換性がありません。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

機能	説明	設定の参照先
ボイス メッセージ システム	<p>コールに応答がない場合に、発信者がメッセージを残せるようにします。</p> <p>Cisco Unified IP Phone 6911 では、メッセージ ボタンを使用してメッセージにアクセスします。</p> <p>Cisco Unified IP Phone 6901 では、アクセス コードを使用してメッセージにアクセスします。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Cisco Voice-Mail Port Configuration」の章 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Voice Mail Connectivity to Cisco Unified Communications Manager」の章

Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加すると、ユーザに関する情報を表示および管理できるようになります。またユーザは、次のタスクを実行できるようになります。

- パーソナル ディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤルとコール転送の番号をセットアップする。

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ユーザを 1 名ずつ追加するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] を選択します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「[End User Configuration](#)」の章を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、一括管理ツールを使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同一のデフォルト パスワードを設定することもできます。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「[Bulk Administration](#)」の章を参照してください。

- 社内 LDAP ディレクトリからユーザを追加するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム (System)] > [LDAP] > [LDAP システム (LDAP System)] を選択します。



(注) [LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronization from the LDAP Server)] を有効にした後は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページから別のユーザを追加できなくなります。

LDAP の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「[Understanding the Directory](#)」を参照してください。

- ユーザと電話機を同時に追加するには、Cisco Unified Communications Manager から [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ/電話の追加 (User/Phone Add)] を選択します。

ユーザ オプション Web ページの管理

ユーザ オプション Web ページでは、電話機のいくつかの機能や設定値をユーザがカスタマイズおよび制御できます。ユーザ オプションの Web ページの詳細については、『Cisco Unified IP Phone 6901 and 6911 User Guide for Cisco Unified Communications Manager』を参照してください。

ユーザ オプション Web ページへのユーザ アクセスの有効化

ユーザがユーザ オプション Web ページにアクセスできるようにするには、管理者がユーザを標準 Cisco Unified Communications Manager エンド ユーザ グループに追加し、適切な電話機をユーザに関連付けておく必要があります。

ユーザを標準 Cisco Unified Communications Manager エンド ユーザ グループに追加するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ グループ (User Group)] を選択します。
- [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3** [Standard CCM End Users] リンクをクリックします。対象の標準 CCM エンド ユーザについての [ユーザ グループの設定 (User Group Configuration)] ページが表示されます。
- ステップ 4** [グループにエンド ユーザを追加 (Add End Users to Groups)] をクリックします。[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [ユーザの検索 (Find User)] ドロップダウン リストを使用して、追加するエンド ユーザを探し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 6** 検索条件に一致するエンド ユーザのリストが表示されます。
- ステップ 7** 表示されるレコードのリストで、このユーザ グループに追加するユーザのチェックボックスをクリックします。リストが複数ページにわたる場合は、下部のリンクを使用して結果の続きを表示します。
-
-  **(注)** 検索結果には、すでにユーザ グループに属するエンド ユーザは表示されません。
-
- ステップ 8** [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックします。
-

このユーザに電話機を関連付けるには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)] を選択します。
- [ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。

- ステップ 3** 表示されるレコードのリストで、ユーザのリンクをクリックします。
- ステップ 4** [デバイスの割り当て (Device Association)] をクリックします。
[ユーザ デバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** 適切な検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 6** デバイスの左にあるボックスをオンにして、エンドユーザに割り当てるデバイスを選択します。
- ステップ 7** [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] をクリックして、デバイスをエンドユーザに割り当てます。
- ステップ 8** ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストから、[ユーザの設定に戻る (Back to User)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択し、関連付けたデバイスが、[制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに表示されます。
- ステップ 9** [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] をクリックします。

エンドユーザには、必ずユーザ オプション Web ページに関する次の情報を提供してください。

- アプリケーションにアクセスするために必要な URL。この URL は、次のとおりです。
http://<server_name:portnumber>/ccmuser/ (*server_name* は、Cisco Unified Communications Manager のホスト名)
- アプリケーションにアクセスするために必要なユーザ ID とデフォルト パスワード。
これらの設定値は、ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加したときに入力した値と同じです ([「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加」 \(P.5-9\)](#) を参照)。

詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「[User Group Configuration](#)」の章。
- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「[End User Configuration](#)」の章。

ユーザ オプション Web ページに表示するオプションの指定

ユーザ オプション Web ページには、デフォルトではほとんどのオプションが表示されます。ただし、次のオプションは、システム管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [エンタープライズ パラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] の設定値を使用して設定する必要があります。

- Show Ring Settings
- Show Call Forwarding
- Show Message Waiting Lamp
- Show Audible Message Waiting Indicator



(注)

この設定値は、サイトのすべてのユーザ オプション Web ページに適用されます。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションを指定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise Parameters)] を選択します。
- [エンタープライズ パラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [CCMUser Parameters] 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リストから次のいずれかの値を選択し、パラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。
- [True] : オプションをユーザ オプション Web ページに表示する ([Show Ring Settings] および [Show Call Forwarding] 以外はこれがデフォルト)。
 - [False] : オプションをユーザ オプション Web ページに表示しない。
 - [Show All Settings] : コール転送のすべての設定をユーザ オプション Web ページに表示する (デフォルト)。
 - [Hide All Settings] : コール転送の設定をユーザ オプション Web ページに表示しない。
 - [Show Only Forward All] : 不在転送の設定だけをユーザ オプション Web ページに表示する。